

2008. 11. 16

大月町

柏島小を残そう

存続求める会発足

【宿毛】幡多郡大月町が進める小学校統合計画に関し、柏島小の保護者有志らが十五日、柏島公民館などで「柏島小学校存続を求める集い」を開催。町内外の住民らで「存続を求める会」（山本恒和会長）を結成し、署

名活動などを行うことを決めた。同町では町内全小学校を一校に統合する計画が進められており、同町弘見に統合小が建設されている。柏島地区は「統合小の建設に賛成だが、柏島小は統合に参加しない」としている。集いでは、NPO「黒潮実感センター」の神田優センター長が、柏島小近くに造られたトンボ池や海岸などを案内。同公民館で映像を交えながら、同校ならではの環境学習などを紹介した。

午後からは存続を求める会の結成会が開かれ、町内外から約五十人が参加。「学校がなくなれば地域の文化が消えてしまう」などの意見が出された。今後、町議会十二月定例会までに存続を求める署名活動などを行う予定。山本会長は「学校があることで地域が活性化。残り時間は少ないが住民一丸となっ

て存続を訴えていく」としている。

(村上和陽)